

久留米市下水道事業におけるウォーターPPP 導入検討に関する調査 アンケート調査の結果について

1. 調査目的

久留米市企業局上下水道部では、持続可能な下水道事業の運営に向けて、ウォーターPPP（官民連携手法）の導入を検討しています。

本調査は、ウォーターPPP 手法の導入検討にあたり、民間事業者が参画しやすい事業条件等を把握することを目的として実施したものです。

2. 調査概要

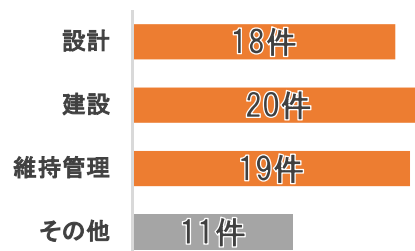
調査方法	久留米市ホームページより、「ふくおか電子申請サービス」を利用した WEB アンケート
調査期間	令和 6 年 11 月 18 日（月） 8 時 30 分から 令和 6 年 12 月 6 日（金） 17 時まで

3. 回答者数と属性

38 者からの回答を得ました。

なお、複数回答のため、全者の回答数と回答者数は一致しません。

回答欄	回答数 (全者)	割合 (全者)
設計	18 件	47.4%
建設	20 件	52.6%
維持管理	19 件	50.0%
その他	11 件	28.9%
有効回答計	68 件	(回答 38 者)

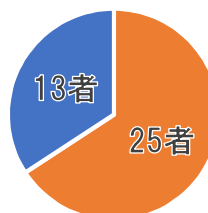


4. 調査結果の概要

(1) 業務実績

久留米市下水道事業における業務実績の有無についてお答えください。
直近 10 年以内の実績についてお答えください。（単一選択）

- 業務実績あり
- 業務実績なし

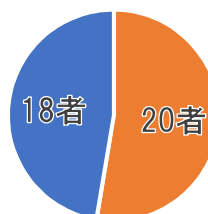


●結果

- 久留米市下水道事業における業務実績の有無について、全体で半数を超える 25 者が「実績あり」との回答でした。

久留米市の下水道事業以外における業務実績の有無についてお答えください。
直近 10 年以内の実績についてお答えください。（単一選択）

- 業務実績あり
- 業務実績なし

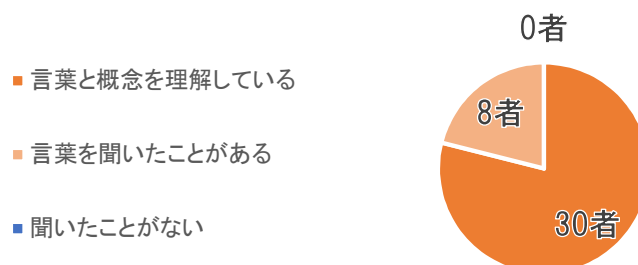


●結果

- 久留米市の下水道事業以外における直近 10 年以内の業務実績の有無について、全体で「実績がある」の回答が半数以上の 20 者という結果でした。

(2) 本事業への関心

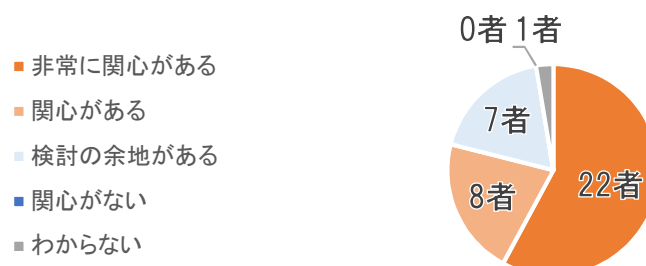
ウォーターPPP の認知度についてお答えください。（単一選択）



●結果

- ウォーターPPP の認知度について、全体で「言葉と概念を理解している」の回答が30者と最も多く、「聞いたことがない」の回答は0者でした。

本事業への貴社の関心度合をお答えください。（単一選択）

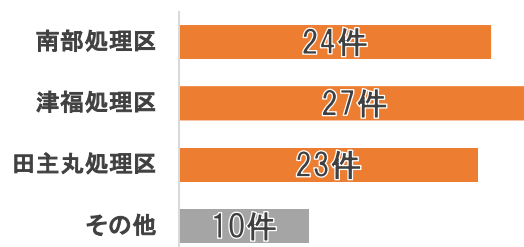


●結果

- 本事業への関心度合について、全体の半数以上である22者が「非常に興味がある」、「興味がある」との回答でした。主な理由としては、「過去の実績・知見を活かせること」、「ウォーターPPP事業という方式そのものに関心があること」等が挙げられました。

(3) 対象エリア

久留米市でウォーターPPPを導入する場合、どのエリアで導入することが望ましいと考えますか。（複数選択可）

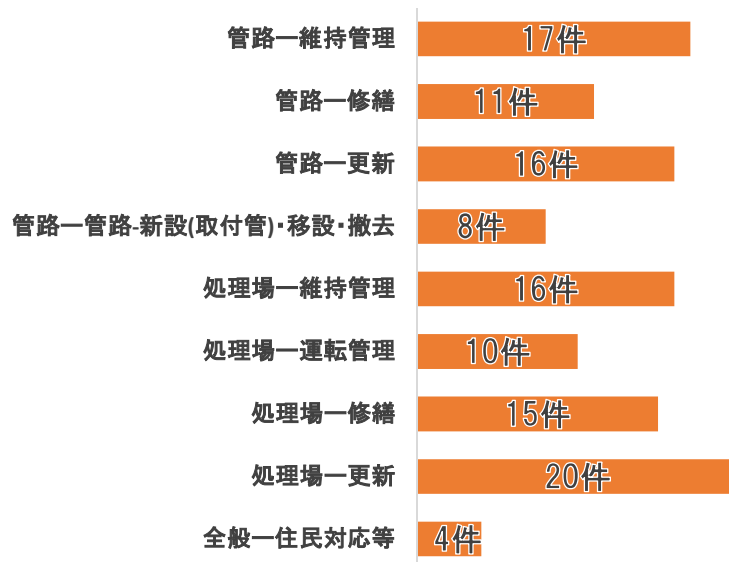


●結果

- 望ましい導入エリアについて、3処理区で大きな偏りはありませんでしたが、津福処理区が最も多く27件でした。また、20者が3処理区全てを選択しました。津福処理区が望ましい主な理由として、「老朽化が進んでいることが想定されるため知見を活かせること」が挙げられました。3処理区全てが望ましいとした主な理由としては、「スケールメリットが働くこと」が挙げられました。

(4) 業務内容

久留米市のウォーターPPPに参加する場合、貴社が担当を想定している業務内容についてお答えください。（複数選択可）

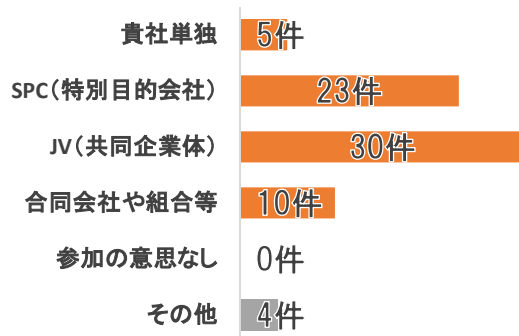


●結果

- 参加する場合に担当を想定している業務内容について、「処理場-更新」業務を担当できる回答者が最も多く、次いで「管路-維持管理」業務を担当できる回答者が多いことが分かりました。

(5) 参加体制

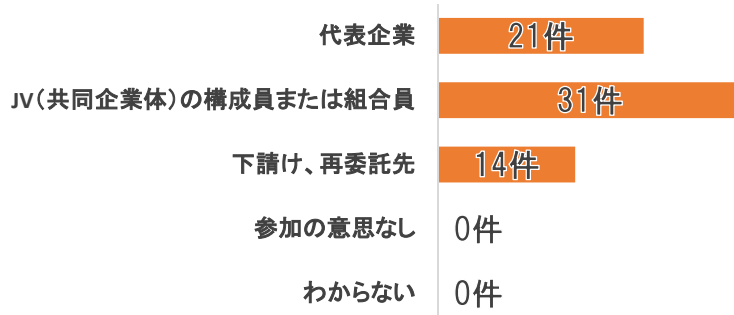
久留米市のウォーターPPPに参加する際に想定する体制についてお答えください。(複数選択可)



●結果

- 参加する際に想定する体制について、「JV」の回答が30件と最も多く、次いで「SPC」が23件と多いことが分かりました。

どのような立場での参加を想定していますか。(複数選択可)



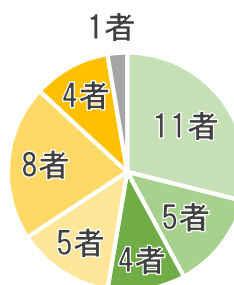
●結果

- 参加する際に想定する立場について、「JVの構成員または組員」が最も多い31件でした。

(6) 事業スキーム

自社で出来る出来ないにかかわらず、久留米市がウォーターPPPを導入する場合、望ましいマネジメント方式及び対象施設をお答えください。（単一選択）

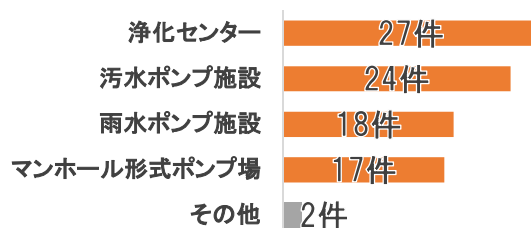
- 1. 更新支援型(処理場+管路)
- 2. 更新支援型(処理場のみ)
- 3. 更新支援型(管路のみ)
- 4. 更新実施型(処理場+管路)
- 5. 更新実施型(処理場のみ)
- 6. 更新実施型(管路のみ)
- 7. その他(自由記述)



●結果

- 望ましいマネジメント方式及び対象施設について、「更新支援型（処理場+管路）」の回答が11者で最も多く、次に「更新実施型（処理場のみ）」の回答が8者でした。

上記の質問において、1. 2. 4. 5. の内のどれかに回答された方は、「処理場」の中で望ましい対象施設があれば、お答えください。（複数選択可）



※1 者が無回答であったため、有効回答数は37 者

●結果

- 処理場の中で望ましい対象施設は、「浄化センター」の回答が27件で最も多く、次に「汚水ポンプ施設」が24件と多いことが分かりました。4 処理施設全てを選択した主な理由として、「スケールメリットが働くこと」が挙げられました。

5. 本アンケートを受けて

この度は、久留米市下水道事業におけるウォーターPPP 導入検討に関するアンケート調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。皆様からいただいた貴重なご意見をもとに、引き続き検討してまいります。